



**SUWADA
OPEN
FACTORY**

8月に入ってようやく梅雨明けした新潟です。真っ青な空がギャラリーのミラーガラスに反射して、絵画のような写真が撮れました。(写真左)
 SUWADA OPEN FACTORY 館内はエアコン完備の涼しい中で工場見学していただけます。また SHOP BAR の夏メニューでは、冷たいバニラアイスに熱いエスプレッソをかけていただく「アフオガート」が人気です。

どうぞ皆様、夏の暑さを和らげに SUWADA OPEN FACTORY へお越しください！


「燕三条 工場(こうば)の祭典」の準備が進んでいます

三条市の魅力を発信してきた「越後三条鍛冶まつり」が、さらに広域に“燕三条”を冠して工場見学を中心としたイベント「燕三条 工場(こうば)の祭典」として生まれ変わり、来る10/2~6に開催されます。


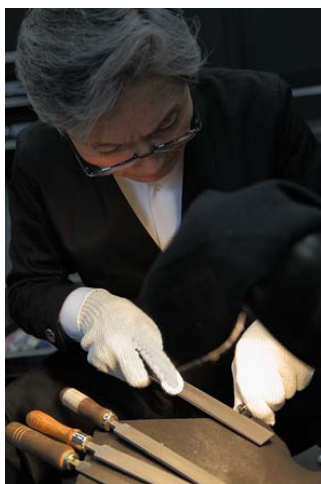
金属加工の他、木工製品や食品加工、農園などの異業種50事業所が参加し、各所で持ち味を活かした見学やワークショップなどが行われます。期間中は各会場を結ぶシャトルバスの運行もあり、燕三条地域の魅力をあますところなく伝えられるイベントになること、間違いありません！

SUWADA OPEN FACTORYも、普段は入れない工場内部をご案内する「バックヤードツアー」、ふだん400トン鍛造機の轟音が響いてるはずの工場に、フルーツの柔らかな音色が流れる「FACTORY フルートコンサート」などのスペシャルメニューをご用意して皆様のお越しをお待ちいたします。

詳しいことは、順次HPにアップしていきますので、ご期待ください！

燕三条 工場の祭典 <http://www.city.sanjo.niigata.jp/shokoka/page00346.html>

市長もブログにアップしています <http://kunisada.seesaa.net/article/355989566.html>

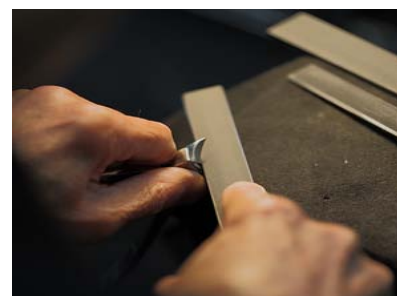


**シリーズ 職人の技を紹介(4)
～刃物に命を吹き込む(合刃 あいば)**


左右の刃を合わせて切るニッパーは、切れ味が“命”と言えます。左右両方に鋭い刃が付いていても、ぴったり合っていないければ、刃が欠けたり、切れないニッパーになります。

SUWADA つめ切りは、熟練した職人がダイヤモンドヤスリを駆使し、左右の刃を隙間なく閉じるように両刃を合わせていきます。

光にかざして刃の隙間を確認し、「どこの部分を、どの位の方で、どのように削るか」を一瞬で判断します。そして、つめ切りの刃部にヤスリを当てますが、実はその時は刃が見えていません。職人の“感”だけが頼りとなる、まさに職人技の作業です。

削り過ぎると元に戻せないため、ひときわ繊細で丁寧な仕事が求められる工程の一つです。



(写真右)
この道65年の大ベテラン
小林 英夫(81)


8月の営業情報／今後のイベント・出展情報

8/11~15 工場はお盆休みとなります。期間中 SHOP と GALLERY は休まず営業いたします！(10:00~18:00)

9/4~6 インターナショナルギフトショー2013 秋 @東京ビッグサイト